

弁護士ヒアリングにおける視点

1 訴訟代理人（弁護士）の準備に要する期間に影響を及ぼす事件のタイプ

(1) 全体的に

専門的知見を要するケース

- * 医療紛争，建築紛争など

事実関係の把握，関係資料の収集が困難なケース

- * 土地の境界が争点となる事件
- * 親族間の事件
- * その他

当事者の事情が影響するケース

- * 当事者の意思決定に一定の手續，時間を要する場合（企業などの組織か個人か，企業規模等）
- * 法的紛争に対する当事者の対応能力（企業などの組織か個人か，法務部などの有無など）
- * 関係資料の収集，保存態勢
- * 迅速な審理を求める意識の有無，程度
- * 感情的対立
- * その他

その他

(2) 手續段階別に

主として争点整理期間が長くなる事件のタイプ

主として証拠調べ期間が長くなる事件のタイプ

2 争点整理期間における訴訟代理人（弁護士）の活動

(1) 争点整理期間の実情

期日における活動

- * 期日での手續の内容（実質的な争点整理がどの程度行われているかなど）
- * 期日での争点整理の実質的進展の障害となる事情
- * 裁判所の関与の実情
- * その他

期日間の活動

- * 当事者との打合せ
- * 証拠等の収集（各種照会など）
- * 準備書面の作成
- * 和解に向けた調整（当事者との打合せ，相手方代理人との協議など）
- * 他の業務との優先関係の調整
- * その他

(2) 効果的，効率的な争点整理の実施に影響を及ぼす要因

事件の内容に関わるもの

- * 事案の専門性
- * 争点が複雑，多数
- * 事案の把握困難
- * 証拠の収集困難
- * その他

当事者に関するもの

- * 事実関係の把握，証拠の保存状況
- * 意思決定の遅延
- * 合理的な争点整理への抵抗感，感情的対立
- * 関係資料の収集に要する費用の負担能力
- * 意思疎通の難易
- * その他

訴訟代理人に関するもの

- * 専門性への対応状況
- * 繁忙度
- * 当事者との信頼関係の確立，維持への配慮
- * その他

裁判所に関するもの

- * 争点整理内容に対する裁判所の関与，イニシアティブの程度
- * 裁判所による事案の把握状況
- * 期日，法廷等の余裕
- * 争点整理終了後人証調べまでの待ち時間

- * その他

その他

- * 訴え提起前の関与，準備の程度との関係

3 証拠調べ期間における訴訟代理人（弁護士）の活動

(1) 人証調べ

人証調べのための準備の実情

- * 証人の出頭確保

- * 証人との打合せ

- * 当事者との打合せ

- * その他

集中証拠調べの実情及びその障害となる事情

- * 争点整理の不十分さ

- * 証人の日程確保等の困難さ

- * 証人尋問の準備の困難さ

- * 訴訟代理人の日程確保の困難さ

- * 裁判所の期日の確保の困難さ

- * その他

(2) その他の証拠調べの実情

鑑定

- * 鑑定人の確保

- * 適切な鑑定事項の策定

- * 鑑定費用

- * その他

その他

4 訴え提起前の訴訟代理人（弁護士）の活動

(1) 活動の実情

受任に至る経緯

事案内容の把握，関係資料の収集

関係資料の分析，評価

紛争解決手段の検討，選択

関係書類の作成

相手方とのやりとり

その他

(2) 効果的な準備の支障となる事情

事件の内容に関わるもの

- * 事案の専門性
- * 争点が複雑，多数
- * 証拠の偏在，収集困難
- * 時効，出訴期間の切迫
- * その他

当事者に関するもの

- * 事実関係の把握，証拠の保存状況
- * 意思決定の遅延
- * 意思疎通の難易
- * 早期の訴え提起への強い意向
- * その他

訴訟代理人に関するもの

- * 専門性への対応状況
- * 繁忙度
- * その他

5 その他地域に特徴的な事情